

CHARGE

CO₂削減目標が設定されました!

1997年に採択された「京都議定書」では、わが国は2008年～2012年において温室効果ガスを6%削減する(1990年比)という目標が決められました。日整連は、2003年に「自動車整備業界における地球温暖化防止のためのボランティアプラン(自主行動計画)」を設定し取り組みを行っていましたが、今回これまでの活動を見直し、4月より本格的にCO₂排出量の削減を行っていくこととなりました。

自動車整備業界の実態

日整連の調べによると、自動車整備業界全体で排出しているCO₂は年間約164万t(2007年度電力消費量換算による)という結果になっています。164万tという数字は、日本全体のCO₂排出量約12億tの0.2%程度であり、産業部門全体の1%ほどを占めます。1事業場あたりのエネルギー消費量は小さいものの、事業所数が多いために全体の数字を押し上げています。

4月から本格的に取り組み開始

日整連は削減目標を設定し、本格的に整備業界に展開することになりました。今後の予定としては、2009年4月以降に日整連から各振興会へ説明会や資料が配布されます。また、全国3000程度の整備事業場に対してサンプリング調査も実施していく予定です。

●削減目標●

2012年度におけるCO₂排出量を2007年度に対して5%削減する

2012年までに、CO₂総排出量、入庫1台あたりのCO₂排出量を年平均1%削減する

2012年度における入庫1台あたりのCO₂排出量を2007年度に対して5%削減する

どう削減していくか

CO₂削減に向けた方法としては大きく3つに分けられます。

最新機器への
代替機器の
メンテナンス

節電

日整連の調べによると、リフトと温水洗浄機に関して10年前の機器と現在の機器を比較した結果、いずれも現在の機器の方が、エネルギー消費量及びそれに伴うCO₂排出量は少なくなっていることがわかりました。(下記表参照)

また、メンテナンスに関わる調査として、工場内のエア漏れ及び水漏れ調査の結果、整備工場全体の約6割にエア漏れが、約2割に水漏れが確認されるという結果が出ており、メンテナンスの実施による効果は大きく期待されます。そのほかに、昼休みの消灯など、今すぐできる内容に関しては、積極的な努力が望まれます。

実際に見つかったエア漏れ、水漏れの例

●配管ホースからエア漏れをしていて、コンプレッサーが常に作動していた

●洗浄機のフロートバルブ不良により、水漏れが発生していた

■リフトにおける現行型式と旧型式のCO₂排出量の比較

	現行型式				旧型式			
	モーター容量 [kW]	上昇時間 (60Hz)[秒]	昇降1回のCO ₂ 排出量目安 [kg-CO ₂]	年間排出量目安 [kg-CO ₂]	モーター容量 [kW]	上昇時間 (60Hz)[秒]	昇降1回のCO ₂ 排出量目安 [kg-CO ₂]	年間排出量目安 [kg-CO ₂]
2柱リフト	1.5	37	0.00585	17.55	1.5	40	0.00643	19.30
	1.5	37	0.00585	17.55	2.2	40	0.00943	28.31
埋め込み式2柱リフト	1.5	54	0.01404	42.12	2.2	42	0.01475	44.27
大型2柱リフト	4.4	70	0.06658	199.74	4.4	60	0.06658	199.74

※大型2柱リフトは揚程が上がっている(1300→1500)

※CO₂排出量の係数は0.39にて計算

■温水洗浄機における現行型式と旧型式の燃料(灯油)消費量の比較

	現行型式			旧型式		
	吐出量 [L/h]	電気容量 [kW]	灯油消費量 [L/h]	吐出量 [L/h]	電気容量 [kW]	灯油消費量 [L/h]
小型タイプ	900	2.2	5.0	900	2.2	6.5
大型タイプ	1600	3.7	8.4	1600	3.7	12.4

※認証工場のうち大型工場3000軒で1台/軒(計3000台)、残りを小型工場分と想定 ※大型整備工場では、1日あたり2台、1台あたり1時間洗車すると想定
※小型整備工場では、1日あたり3台、1台あたり10分間洗車すると想定

東京スバル株式会社 羽田整備センター

東京都太田区東糀谷5-1-12
Tel 03-3742-1171

いま注目!
のショッポ訪問



サービス部品部主査
伊藤 秀雄 様

東京スバル株式会社の総社員数は1,090名。うち、サービス部員は465名です。拠点数については、スバル新車拠点が39店舗、中古車拠点14店舗、板金センター3拠点を保有しています。2007年度の売り上げ616億円に占めるサービス売り上げは81億円となっています。今回訪問した羽田整備センターは、今まで外注の占める割合が高かった板金塗装作業を内製化するために、今年1月にリニューアルオープンしました。内製化の背景には、環境面やコンプライアンス面などでの対応をより適切に行うことができる環境を整えるという考えがあり、板金センター3拠点で全入庫台数に占める板金内製率を、現在の40%から今後60%以上にしていこうとすることです。新店のオープンが続き、勢いのある東京スバルさんにお話をお聞きしました。

お客様に親しまれる、環境重視のBP工場を目指して

■ユーザー向けの『やさしいクルマ教室』が人気

同社では入庫促進策として、メーカー主催のお客様感謝デーとの連動で、独自のスペシャルメニューとして工場見学会やメカニックによるアドバイス教室『やさしいクルマ教室』を全国に先駆けて開催しています。『やさしいクルマ教室』は、ユーザー参加型のプチメカニック体験としてパンクの際のスペアタイヤ交換や、エンジンオイルの油量・汚れのチェックといった基本的なサービス内容を実際にお客様と一緒に作業したり、クルマの基本的な構造や各装置の作用を「簡易セミナー形式」でサービスマンが丁寧に教えてくれます。サービス部品の伊藤秀雄さんは、「女性のお客様には特にご好評をいただいております。多くの参加をいただいております」と話してくださいました。

■環境に対しての取り組みには積極的

同社は、「エコアクション21」を59事業所一括で認証を取得しています。大規模ディーラーでは一括取得は初めてで、もちろんスバル販売店の中でも取得第1号でした。伊藤さんは、「弊社では環境に対する取り組みに関して積極的に力を入れており、作業員の安全と、生産性をテーマにしています。今回の羽田整備センターのリニューアルに際しては、数社にプレゼンテーションをしていただいた中で、ANZENさんの環境に対するコンセプトが最も私達の期待に応えてくれると感じたため、お願いすることに決めました」と話してくださいました。羽田整備センターには水性塗料対応のブースも導入されましたが、今のところ同社の他のBPセンターに合



将来性を考え、水性塗料にも対応できる
塗装ブース

せてVOCの少ない低溶剤型塗料を使用しているそうです。伊藤さんは、「作業の効率を考えると、水性化にはまだ二の足を踏んでしまうところですが、もちろん対応する準備は整えていきます」と話してくださいました。

■作業環境と生産性を高めるため、最新の機器を導入

都内10拠点をカバーする羽田整備センターは、月間板金入庫目標が100台とのことで、リニューアルを機に多くの最新機器が導入されました。フロントスタッフの佐藤浩さんは、「イタリア、スパネーゼ社製の板金用リフト『ミニベンチeco』は、フラットな設計となっているためスペースを有効活用でき、作業効率のアップに繋がると感じています」と話してくださいました。溶接機はイタリアのチェボラ社製『フルデジタル・インバーター式パルスMIG/MAG自動溶接機』を導入。「板圧や材質を入力するだけで自動的に溶接電流をコントロールしてくれるので、長年の経験が必要とせずありがたいですね。実際の利便性は、今後もっと使い込んでからわかると思っています」とのことです。また、羽田整備センターでは環境と従業員の健康管理などを配慮して、固定式と移動タイプ(2台ともスパネーゼ社製)の集塵機を設置しました。伊藤さんは「床上の集塵装置は、作業員の健康を守るためにもとても有効な機器であると評価しています。グリーン購入法など、世の中の動きは地域の環境保全重視の方向に向かっていきます。東京スバルは社会における存在価値として、環境を常に念頭に置いて活動をしていきます。そして商売というよりはポリシーとして前面に打ち出し、これからも環境を考えた工場を作っていきたいと思っています」と話してくださいました。



高い強度を誇るレールを採用した
フレーム修正機



あらゆる材質、溶接条件に対応する
デジタル式溶接機



環境を考慮して購入を決めた
集塵機で安心作業

有限会社 ワイアンドエイ

埼玉県戸田市美女木5-11-10
Tel 048-422-0393

これは使える!
商品ルポ

有限会社ワイアンドエイは月間約30台の入庫がある認証工場です。入庫車の中にはローダウン車も多く、作業効率をさらにアップさせるため『超低床エア式ガレージジャッキALA-2EXL』の導入を決めました。早速、使い勝手について社長の安達正人さんにお聞きしました。



代表取締役社長
安達 正人 様

低床エア式ガレージジャッキの決定版 超低床エア式ガレージジャッキALA-2EXL

■最低地上高を瞬時にチェックできる「超低床」が導入の決め手

「まずなにより、決め手となったのがジャッキ本体の高さです。車検時のクルマの最低地上高は90mm。今回導入したジャッキの最低位は80mm(フレーム高さ88mm)だから、このジャッキが入らなかつたら車検はパスしない。つまり簡易メジャーの役割も果たしているわけです。それから、静粛性に優れているのには驚きました。エア音がほとんどしませんからね。環境問題やコンプライアンスの重要性が叫ばれているだけに、住宅地にある整備工場にはうってつけのジャッキだと思います。そして取り回しの良さについても絶賛。「驚いたのはジャッキの移動が軽くてスムーズなんです。ジャッキポイントを探しながらの押し込み(転がし移動)や、引き出し動作のフットワークが良く、ピット内での移動もとてもラクです。ベアリング車輪は取り回しがとても良いですね。これまでの、鉄車輪をゴロゴロさせながら引っ張っていくというイメージが払拭されましたよ!素晴らしいジャッキと出会うことができました」と、安達さんから「最も進化したガレージジャッキ」の称号をいただきました。



地上高が車検をパスするか、
瞬時に判断できるのが最大の魅力



新型エアポンプは驚くほど静かな作動音



ALA-2EXL

AWD-2009CLR

日産ディーゼルトラックス株式会社 越谷支店

埼玉県越谷市七左町3-200
Tel 048-986-2307

これは使える!
商品ルポ

日産ディーゼルトラックス株式会社越谷支店には、安全性をとて大事にする気風があります。支店長の山口善次さんが「月1回『安全会議』を開催して、安全活動について意識を高め、行動をするよう促している」とお話されるように、「安全第一」を重視する姿勢は導入する整備機器にも表れています。



支店長
山口 善次 様

車輪脱落事故防止点検の必須アイテム ホイールドローリー AWD-2009CLR

■回転フォーク仕様が導入の決め手

車検時の点検追加で大型車タイヤ点検がより強化された現在、ホイールドローリーはなくてはならない機器の一つです。今回導入されたホイールドローリーの使用感について、工場長の今井信さんにお話を聞きました。「何と言っても最大の特長はタイヤを載せたままフォークが回転することでしょう。ホイールボルトの位置合わせがとてもラクです。このアイデアは評価しています!従来のフォーク固定型に比べて作業時間が短くなり、作業効率の向上に大きく寄与しています。タイヤの大きさに合わせてフォークが左右にスライドする『フォーククイックスライド方式』についても「ジャストフィットして安定感が得られる」とお褒めの言葉をいただきました。そして車輪のストッパー機能への評価は、「床面にできた小さな傷や凹凸、うねりなどがあると設置に不安定ですが、ストッパー付きだと本体がしっかり固定されるので安心して作業できます」と、安全性に高い評価をいただきました。



工場長
今井 信 様



フォークが回転するので
タイヤの位置合わせがラク!



キャスターはストッパー付き(オプション)
傾斜のあるフロアでも安全な作業を実現

おすすめ商品

CO₂削減に向けて、環境にやさしいオススメ商品をご紹介します！

省エネ型エアカプラー

メガフローシリーズ

ボールバルブの採用により、接続部での空気抵抗を減少。エア漏れを防止することによってエアの使用効率があップします。



エア漏れ防止

スクロール式コンプレッサー

SLP-300E

複数の圧縮機を1台に搭載！使用空気量に合わせて最適な台数で作動します。ムダな運転を省き、消費電力を最小限に抑えます。

省エネ



トピックス

『リフト点検資格者』の運用を本格的にスタートしました！

日本自動車機械工具協会・会員会社において、リフト点検資格者によるリフト点検作業を本格的に実施しています。リフト点検資格者が定期点検を行うことで点検の不備や点検不履行による事故の減少を目指し、リフトの正しい使い方をアドバイスいたします。今後も業界全体でリフト事故撲滅に向けた取り組みを強化していく方針です。

リフト点検でお困りの際はご相談ください！

ANZENではサービスマンの約9割(平成21年3月現在)が「リフト点検資格者認定」を取得しており、お客様のリフトをプロの目で点検いたします！安全にリフトをお使いいただくために、下記の点検メニューをご用意しております。お客様の日常点検に加え、「リフト点検資格者」による安全点検を実施し、事故防止に努めましょう！

お客様のリフトをプロの目で点検いたします！
リフト点検でお困りの際は、是非ご相談ください！

リフト点検はANZENにおまかせ！



ANZENのメンテナンスサポート

予防整備

消耗品や部品を定期的に交換し経年劣化による故障を防ぎます。

保守点検

日常点検できないところまで念入りに点検・調整します。

トピックス

期間限定！床上柱式リフトご購入のお客様にご成約特典をご用意！

5月31日までの期間中、下記対象リフトをご購入のお客様に特選「飛騨牛」をプレゼント！この機会に是非ご利用ください！（詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください）

●対象商品●

1柱リフト

2柱リフト

門型リフト

アーチリフト

スラットリフト

特選「飛騨牛」をプレゼント！！

サロインステーキ

すき焼き

しゃぶしゃぶ

焼肉

左記4点の中から
お好きなものを
お選びください。



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス（ボイスワープ）対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

☎ 0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。受付時間：月～金（AM9：00～PM5：00）

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ「ANZEN Web」ではANZENの最新情報を提供しています。